

2024 年度 LET 関東支部総会

次第

日時:2024 年 6 月 29 日(土) 13:00~13:30

会場:明治大学中野キャンパス 413 教室

【議題】

1. 2023 年度関東支部事業報告
2. 2023 年度決算報告・会計監査報告
3. 2024 年度関東支部事業計画
4. 2024 年度関東支部予算計画
5. 2024 年度関東支部人事
6. 電子投票導入に関する支部規約改定
7. その他

【議題 1】 2023 年度関東支部事業報告

1. 開催行事関連

1) 支部研究大会

- 第 149 回研究大会

日程：2023 年 6 月 10 日（土）

開催場所：Tokyo Global Gateway

大会テーマ：「『対話』を創るスピーキング指導の実践」

- 基調講演：「学習者が『対話』できるようになることを目指した英語スピーキング指導とは」

モデレーター：本沢 彩（関東学院大学）

講師：居村啓子（拓殖大学）、三野宮春子（大東文化大学）、長尾素子（拓殖大学）

研究発表・実践報告件数：5 件

大会参加者数：46 名

- 関東支部合同研修会 2023

日程：2023 年 11 月 25 日（土）

開催場所：文京学院大学本郷キャンパス

研究発表・実践報告・ワークショップ件数：4 件

大会参加者数：37 名

2) 全国研究大会

- 第 62 回全国研究大会

日程：2023 年 8 月 7 日（月）～9 日（水）

場所：早稲田大学戸山キャンパス

テーマ：外国語教育と「技術革新」：変わるもの、変わらないもの

Language Education Tradition Meets Innovation: Honoring Heritage, Embracing the Future

2. 支部総会

2023 年 6 月 10 日（土）第 149 回研究大会 Tokyo Global Gateway 対面

3. 出版・広報関係

- 1) 関東支部メーリングリストを利用した広報
- 2) 関東支部ホームページを利用した広報
- 3) 全国メールマガジンを利用した広報

4. 運営業務関係

- 1) 運営委員会の開催
年 9 回（4、5、7、9、10、11、12、2、3 月）
- 2) 評議員会・運営委員会合同会議の開催
上記運営委員会のうち 3 回（5、10、3 月）

5. 研究部門関係

研究部会ごと開催

- 英語歌利用研究部会
1. 日時：2023 年 6 月 10 日（土）

題目：最近の英国音楽事情（LET blog 第 221 号支部企画）

執筆者：湯舟英一

2. 日時：2023 年 11 月 25 日（土）

場所：文京学院大学本郷キャンパス

題目：「英語と音楽を使った英語指導の実践例」

外国語教育メディア学会関東支部合同研修会 2023

講師：塚田三千代

参加者数：6 名

➤ 音声指導研究部会

日時：2023 年 11 月 25 日（土）

場所：文京学院大学本郷キャンパス

外国語教育メディア学会関東支部合同研修会 2023

題目：「対話型 AI を活用したリスニング・スピーキング指導と学習」

発表者：下山幸成

➤ 英語 4 技能指導・評価研究部会

活動なし

➤ 教材・教授法研究部会

活動なし

➤ 小学校英語教育研究部会

言語教育エキスポ 2024 シンポジウム

テーマ：「学校で何年間も英語を学んでいるのに英語が使えるようにならない」のはなぜか？

日時：2024 年 3 月 10 日（日）

場所：Zoom（会場参加有り）

発表者：パネリスト 草間浩一（武蔵高等学校中学校）根岸雅史（東京外国語大学）、バトラー後藤裕子（ペンシルベニア大学）モデレーター入江潤（一社サステナブル教育開発機構 educore）

➤ 認知科学研究部会

外国語教育メディア学会関東支部合同研修会

日時：2023 年 11 月 25 日（土）

場所：文京学院大学本郷キャンパス・オンライン

テーマ：「3 次元メタバース英会話の実践報告」

講師：高橋栄作、飛田ルミ

➤ ラーニング・デザイン研究部会

1) 外国語教育メディア学会関東支部合同研修会 2023

日時：2023 年 11 月 25 日（土）

場所：文京学院大学本郷キャンパス

参加者：10 名

講師：江藤裕之（東北大学）

2) 第 5 回 Google Workspace for Education ワークショップ

日時：2024 年 2 月 23 日（金・祝）10 時～16 時

場所：Google Meet によるオンライン開催

参加者：約 100 名

内容・講師

1 (発表) Google Colaboratory を利用した英会話トレーニングアプリ開発
（豊橋技術科学大学 林 宏太郎 先生）

- 2 (発表) Get going with Google: An e-portfolio approach to digital writing (立教大学 Robert Dunsmore PATERSON 先生)
- 3 (発表) 公立の挑戦Ⅱ Google 端末、ツール&生成 AI 活用リーディング DX 事業実践 (埼玉県吉川市教育委員会 大西久雄 先生)
4. Google for Education スタッフによる発表へのコメント (Google 長谷川 藍子様)
5. Google Workplace 最新機能の紹介・ハンズオン (Google 長谷川 藍子様)

6. 特別研究研修部会

1) 関東支部第1回特別研究研修部会 2024

日時：2024年2月24日(土)

場所：Zoom オンライン

講師：鬼頭和也(国際基督教大学)

テーマ：ICTを活用したリーディング指導や研究指導

2) 新年度前のよろず情報交換会 2024

日時：2024年3月24日(日)

場所：Zoom

発表1：高橋澄成(八千代松陰学園 八千代松陰高校・八千代松陰中学校 英語科)

「SNSを利用した英語の授業」

発表2：佐々木紀人(青森県教育庁青東教育事務所) “Introduction to School-Feedback”

発表3：黒沢毅(ドルトン東京学園中等部) 「Modern Classroom Project での個別最適な学びの実践」

司会：鬼頭和也(国際基督教大学)

7. 関東支部研究支援プログラム

1) 募集開始：2022年5月22日

2) 締め切り：2022年6月30日

3) 採用決定：2022年7月15日

採択結果：継続3件、新規4件(一般公募の部2件、若手支援の部2件)

継続プロジェクト

1. ファシリテーション技術に基づく協同的な英語指導法の開発とその実践の効果ー
学びに向かう姿勢や機動に着目してー

期間：2年間(2021年4月~2023年3月)

代表者：大場浩正(上越教育大学)

報告：第148回支部研究大会で中間報告済み。第150回(2023年度秋季)研究大会で成果報告(予定)

2. 英語での社会課題研究における地方高校生の「見方・考え方」の変容過程：オン
ライン・対面融合型研修の事例を通して

期間：1年間(2020年4月~2021年3月)

代表者：早崎綾(早稲田大学大学院生)

報告：第151回支部研究大会で成果報告(予定)

3. 日本語母語英語学習者の名詞句構造理解能力の発達過程の解明

期間：2年間(2022年4月~2024年3月)

代表者：田中広宣(東京大学大学院生)

- 報告：第 151 回支部研究大会で成果報告（予定）
4. 学習者同士の対話による英語プレゼンテーションスキル・知識の協働構築
 期間：1 年間（2022 年 4 月～2023 年 3 月）
 代表者：肥田和樹（早稲田大学大学院生）
 報告：第 150 回支部研究大会で成果報告（予定）
 5. 日本人大学生の協働ライティングにおいて、各プロセスにおける学習者の気づきの分析
 期間：2 年間（2022 年 4 月～2024 年 3 月）
 代表：本久郁子（千葉大学）
 報告：第 151 回支部研究大会で成果報告（予定）
 6. 「英語教育と国語教育の連携」に対する実践者の認識に関する質的研究
 期間：2 年間（2022 年 4 月～2024 年 3 月）
 代表：榎木貴之（北海学園大学）
 報告：第 149 回支部研究大会中間報告済み。第 150 回支部研究大会で成果報告（予定）

新規採択（一般公募の部）

1. 英語学習者のライティングにおける結束性の発達過程の調査
 期間：1 年間（2023 年 4 月～2024 年 3 月）
 代表：久保佑輔（筑波大学大学院生）
 報告：第 152 回支部研究大会で成果報告（予定）
2. 日本人大学生による英語プレゼンテーションスキル・知識の学習プロセス
 期間：1 年間（2023 年 4 月～2024 年 3 月）
 代表：肥田和樹（早稲田大学大学院生）
 報告：第 152 回支部研究大会で成果報告（予定）

新規採択（若手支援の部）

1. Focused indirect written corrective feedback がライティングの正確性向上に与える影響：低熟達度の学習者を対象としたパイロットスタディ
 期間：1 年間（2023 年 4 月～2024 年 3 月）
 代表：君塚翔伍（筑波大学大学院生）
 報告：第 152 回支部研究大会で成果報告（予定）
2. 日本の大学 TOEIC 授業における小テストが学習者に与える影響の媒介要因
 期間：1 年間（2023 年 4 月～2024 年 3 月）
 代表：太原達朗（早稲田大学）
 報告：第 151 回支部研究大会で成果報告（予定）

2023 年度終了プロジェクト

一般公募の部 なし

若手支援の部

1. 高専生の英作文と発話のコーパスに基づいた比較分一言語産出までの認知プロセスに着目してー
 期間：1 年間（2022 年 4 月～2023 年 3 月）
 代表者：尾崎ちひろ（佐世保工業高等専門学校）
 報告：第 149 回支部研究大会で成果報告発表（済）
2. CLIL（内容言語統合型学習）教師のアイデンティティ形成と教室内インタラクションの考察：日本の中学校の事例から
 期間：1 年（2021 年 4 月～2022 年 3 月）
 代表：関佳奈（早稲田大学大学院生）
 報告：第 149 回支部研究大会で成果報告発表（済）

8. 関東支部研究紀要

関東支部研究紀要第8号

- 1) 論文投稿受付開始：2023年4月12日
- 2) 論文投稿締切：2023年6月1日
- 3) 採録決定：2023年10月21日
結果：応募6件、採択3件（研究論文2件、実践報告1件）
- 4) 発行：2023年12月29日

関東支部研究紀要第8号

- 1) J-STAGEへの掲載：2023年12月29日

9. 関東支部賞

外国語教育メディア学会（LET）関東支部奨励賞

- 1) 推薦受付開始：2023年6月26日
 - 2) 推薦受付締切：2023年8月20日
 - 3) 選考終了：2023年10月21日
- 受賞者：該当者なし

以上

2023年度 外国語教育メディア学会関東支部 決算報告書 2024年5月16日

自2023年4月1日～至2024年3月31日

項 目	予 算 額	決 算 額	内 訳
前年度繰越金	2,483,847	3,176,867	
一般会費			個人会費 @6,000×326件 @6,000×1件(2024) @1642×1 件 328件 1,963,642
	1,920,000	2,116,642	学生会費 @3,000×25件 × 25件 75,000 団体会費 @6,000 × 13件 78,000
		184,000	過年度の会費（2020 - 2022年度） (23件:2022, 4 件:2021, 1 件:2020), 1件 個人会費 @6,000 × 28件 1,000円:2021 169,000 学生会費 @3,000 × 3件 (2件:2022, 1件:2021) 9,000 団体会費 @6,000 × 1件 (1件:2021) 6,000
			1. 展示協賛金 @3,000 × 10件 29,000 2. 広告掲載料 @2,000 × 3件 6,000 3. プレゼン参加料 @2000 × 3件 6,000 4. 学会当日会費 @1000 × 1件 1,000 5. 利息 銀行口座(18)、郵便局口座(26)、出金口座(2) 46 6. 紀要執筆料
雑収入	34,000	446,548	7. 寄付金その他 教材教授法研究部会返金 (30,000)、 英語歌利用研究部会返金 (26730)、 認知科学研究部会返金 (18780)、 早稲田大学寄附金 (65,000)、 全国大会残金返却 (263,992) 404,502
全国研究大会準備金か	0	1,000,000	1,000,000
収益 計 (①)	1,954,000	3,747,190	
全国研究大会準備金	2,700,000	1,700,000	
支部運営基金 (資産)	1,925,044	1,925,044	
収入 計 (③)	6,579,044	7,372,234	

費 目	予 算 額	決 算 額	内 訳
印刷費	200,000	69,300	紀要アップロード66,000円、修正費用3300円
通信費	200,000	263,327	郵送料1,610円、宅急便代（事務所移転費）7,302円、 理事選
ネットワーク関係費	20,000	22,110	Zoom（事務局用）22,110円
旅費交通費	60,000	0	
業務委託費	220,000	253,668	アゼット
会議費	20,000	0	
			春季大会、合同研修会の開催費用 春季合 126,802 合同研修会 54,061
			会場費（Zoom） 0 0
			印刷費 52890 1,280
			通信費
			旅費交通費 9124 0
			謝礼 43,284 49976
			雑給 20,000 0
			懇親会費 0 0
			飲食費 0 0
			支払手数料 847 1,540
支部大会開催費	415,000	180,863	雑費 657 1,265
研究部会活動費	700,000	460,000	研究部会2件@30,000 研究支援プログラム（一般@60,000 学生@50,000）
雑給	10,000	0	
謝礼費	100,000	143,000	ラーニングデザイン研究部会謝金70,000円（講師3名）、よろず情報交換会30,000円（講師3名）、言語教育エキスポ43,000円（講師3名、アルバイト1名）
交際費	0	0	
事務用品費	10,000	440	通帳用認印440円
消耗品費	0	0	
支払手数料	5,000	19,019	30件 17,369円に「ゆうちょダイレクト・みずほ4件 1,100円」「常陽銀行1件550円」を含む
広告宣伝費	0	0	
支部分担金	432,000	344,000	前年度会費納入額 × 18%
雑費	5,000	2200	口座通帳手数料550円にゆうちょダイレクトトークン発送料1,650円を合算した金額
全国研究大会開催費		1,000,000	
全国研究大会準備金へ	100,000	100,000	
支部運営基金（資産）	100,000	100,000	
費用 計 (②)	2,597,000	2,957,927	三菱UFJ銀行口座の支出合計1,754,627円に「ゆうちょダイレクト・みずほ4件 1,100円」「常陽銀行1件550円」「トークン1650円」を含む
全国研究大会準備金	2,800,000	1,800,000	全国研究大会開催費積立金（通帳⑤ゆうちょ銀行：残高3,044,564のうち）
支部運営基金（資産）	2,025,044	2,025,044	支部運営のための積立金（通帳④みずほ銀行残高1,969,951のうち）
支出 計 (④)	7,422,044	6,782,971	

当期利益 【収益(①)－費用 (②)】		789,263	
次年度繰越金 【前年度繰越金＋当期利 益】		3,966,130	出金通帳(5,762)+入金 ゆうちょ銀行3,044,551(内:資産1,900,000)+ゆ うちよダイレクト(2,970,910)+みずほ銀行1,969,951(内:資産2,125,044)

当期収支 【収入(③)－支出 (④)】		589,263	
---------------------------	--	---------	--

以上、報告します。

外国語教育メディア学会関東支部

事務局長 鬼頭 和也

以上、相違ありません。

会計監査 会計監査

当期利益 【収益(①) - 費用 (②)】		789,263	
次年度繰越金 【前年度繰越金 + 当期利 益】		3,966,130	出金通帳(5,762)+入金 ゆうちょ銀行3,044,551 (内: 資産1,900,000)+ゆ ちょダイレクト(2,970,910)+みずほ銀行1,969,951 (内: 資産2,125,044)

当期収支 【収入(③) - 支出 (④)】		589,263	
-----------------------------	--	---------	--

以上、報告します。

外国語教育メディア学会関東支部

事務局長 鬼頭 和也

以上、相違ありません。

会計監査

フエビンス香織

会計監査

佐藤 明彦

2024年5月16日

会計監査報告書

外国語教育メディア学会（LET）関東支部

2024年度 支部長 小野 雄一 殿

この度、外国語教育メディア学会関東支部の2023年度の会計帳簿、および領収書等について、監査を行いました。

監査の結果、収入、支出について、適正に処理されていることを確認しましたので、支部の収支状況は適切に表示されているものと認めます。

2024年5月16日

会計監査

フェアバンクス 香織



佐藤 明考



【議題 3】 2024 年度関東支部事業計画

1. 開催行事関連
 - 1) 支部研究大会
 - ・第 150 回春季研究大会
日程：2024 年 6 月 29 日（土）
場所：明治大学中野キャンパス
内容：研究発表・実践報告・基調講演等
 - ・第 151 回秋季研究大会
日程：2024 年 11 月 17 日（日）開催予定
場所：東洋大学白山キャンパス
内容：研究発表・実践報告・授業研究・研究部会報告等
 - 2) 全国研究大会
 - ・第 63 回全国研究大会
日程：2024 年 8 月 6 日（月）～8 日（水）
場所：名古屋学院大学名古屋キャンパスしろとり
テーマ：令和の教育改革ー未来の外国語教育をデザインするー
内容：研究発表・実践報告・シンポジウム・ワークショップ・ポスター等
2. 支部総会
 - ・第 150 回春季研究大会時に開催予定
3. 出版・広報関係
 - 1) 関東支部メーリングリストを利用した広報
 - 2) 関東支部ホームページを利用した広報
 - 3) 全国メールマガジンを利用した広報
4. 運営業務関係
 - 1) 運営委員会の開催
年 10 回（4 月、5 月、6 月、7 月、9 月、10 月、11 月、12 月、2 月、3 月）
 - 2) 評議員会・運営委員会合同会議の開催
上記運営委員会のうち 3 回（5 月、10 月、3 月）
5. 研究部門関係
 - ・英語歌利用研究部会
 - ・音声指導研究部会
 - ・外国語学習指導・評価研究部会
 - ・教材・教授法研究部会
 - ・小学校英語教育研究部会
 - ・認知科学研究部会
 - ・ラーニング・デザイン研究部会
 - ・教育ツール研究部会
6. 特別研究研修会
研究部会とは別に特別研究研修会を随時開催
7. 関東支部研究支援プログラム
募集開始：2024 年 5 月 20 日
締め切り：2024 年 6 月 30 日
採用決定：2024 年 7 月

8. 関東支部研究紀要

研究紀要第9号

投稿論文募集開始：2024年4月12日

投稿締め切り：2024年6月1日

発行：完成次第公開、2024年度内を最終刊行日とする

9. 関東支部賞

関東支部奨励賞推薦受付開始：2024年6月14日

関東支部奨励賞推薦締切：2024年8月20日

関東支部奨励賞選考：2024年10月21日まで

関東支部奨励賞表彰：2024年度第151回（秋季）支部研究大会内

以上

2024年度 外国語教育メディア学会関東支部 予算 2024年5月18日

項 目	予 算 額	内 訳			
一般会費	2,454,000	個人会費 @6,000	×	374 件	2,244,000
		学生会費 @3,000	×	36 件	108,000
		団体会費 @6,000	×	17 件	102,000
雑収入	60,000	展示協賛金@3000	×	10 件	60,000
		広告掲載料@2000	×	0 件	0
		研究集録売上			0
		学会当日会費@1000	×		
		紀要執筆料			0
		その他			0
収益 計 (①)	2,514,000				
繰越金	3,966,130				
全国研究大会準備金	1,800,000				
支部運営基金 (資産)	2,025,044				
収益 計 (②)	10,305,174				

費 目	予 算 額	内 訳			
印刷費	200,000	支部紀要データ編集、J-STAGE登録			
通信費	200,000	郵送料、宅配便(主に事務局移転)			
ネットワーク関係費	25,000	Zoom(事務局用)22,110円			
旅費交通費	60,000				
業務委託費	300,000	アゼット(値上がり:保守点検500円/月、切手代84円→110円)			
会議費	20,000				
支部大会開催費	1,054,000	春季大会の開催費用		秋季大会の開催費用	
		印刷費	35,000	印刷費	35,000
		通信費	40,000	通信費	40,000
		旅費交通費	50,000	旅費交通費	50,000
		謝礼	50,000	謝礼	50,000
		雑給	60,000	雑給	60,000
		懇親会費	50,000	懇親会費	50,000
		飲食費	30,000	飲食費	30,000
		事務用品費	10,000	事務用品費	10,000
		会場費	200,000	会場費	200,000
手数料	2,000	手数料	2,000		
研究部会活動費	700,000				
雑給	20,000				
謝礼費	100,000				
事務用品費	10,000				
交際費					

消耗品費	10,000	
支払手数料	20,000	振込手数料(昨年度17,369円)
広告宣伝費	0	
支部分担金	380,996	2023年度会費納入額 (2,116,642円) × 18%
雑費	10,000	
全国研究大会への積立金	100,000	
支部運営基金 (資産) への積立金	100,000	
費用 計 (③)	3,309,996	
次期繰越	3,966,130	2023年度分は使わず、そのまま繰り越し
全国研究大会準備金	1,800,000	2026年度まで積み立てを継続
支部運営基金 (資産)	1,229,048	優先的に使用(費用③に対して、収益①を先に使用し、不足分795,996円をここから支出)
費用 計 (④)	10,305,174	

議題5 2024年度関東支部人事

	役職	氏名	所属
1	支部長	小野雄一	筑波大学
2	副支部長	奥 聡一郎	関東学院大学
3	副支部長	佐藤 健	神戸大学
4	副支部長	鬼頭 和也	国際基督教大学
5	事務局長	本沢 彩	関東学院大学
6	議長	○千葉 敦	常磐大学
7	議長	下山 幸成	東洋学園大学
8	議長	狩野 紀子	拓殖大学
9	会計	○大久保 雅子	早稲田大学
10	会計	中田 ひとみ	獨協大学
11	庶務	○朝熊 悠	関東学院大学
12	庶務	森田 彰	早稲田大学
13	書記	○中田 ひとみ	獨協大学
14	書記	朝熊 悠	関東学院大学
15	書記	大久保 雅子	早稲田大学
16	書記	小田 理代	麗澤大学
17	渉外・賛助会員	○藤本 淳史	拓殖大学
18	渉外・賛助会員	飛田 ルミ	足利大学
19	大会運営	○ 関谷 弘毅	東洋英和女学院大学
20	大会運営	下島 義容	拓殖大学
21	大会運営	狩野 紀子	拓殖大学
22	大会運営	下山 幸成	東洋学園大学
23	大会運営	フェアバンクス 香織	文京学院大学
24	大会運営	末森 咲	筑波大学
25	大会運営	岩崎 剛毅	共立女子大学
26	研究企画	○湯舟 英一	東洋大学
27	研究企画	藤永 史尚	近畿大学
28	研究企画	今野 勝幸	龍谷大学
29	研究企画	入江 潤	一社・educore
30	研究企画	高橋 栄作	高崎経済大学
31	研究企画	青田 庄真	茨城大学
32	研究企画	佐藤 健	神戸大学
33	研究企画	鬼頭 和也	国際基督教大学
34	研究企画	奥 聡一郎	関東学院大学
35	出版	青田 庄真	茨城大学
36	支部紀要編集	○山口 高領	秀明大学
37	支部紀要編集	小倉 雅明	大阪公立大学
38	ホームページ	千葉 敦	常磐大学
39	アーカイブ作成・管理	○本沢 彩	関東学院大学
40	アーカイブ作成・管理	鬼頭 和也	国際基督教大学
41	研究支援プログラム	○淡路 佳昌	大東文化大学
42	研究支援プログラム	奥 聡一郎	関東学院大学
43	◆認知科学研究部会	飛田 ルミ	足利大学

44	◆教材・教授法研究部会	久保田 章	筑波大学
45	◆ラーニング・デザイン研究部会	鬼頭 和也	国際基督教大学
46	◆英語4技能指導・評価研究部会	藤永 史尚	近畿大学
47	◆英語歌利用研究部会	中田 ひとみ	獨協大学
48	◆小学校英語教育研究部会	入江 潤	一社・educore
49	◆英語音声教材研究部会	大久保 雅子	早稲田大学
50	◆教育ツール研究部会	下山 幸成	東洋学園大学
52	◆会計監査	奥山 慶洋	白鷗大学
53	◆会計監査	佐藤 明彦	拓殖大学
54	関東支部名誉支部長	羽鳥 博愛、大八木 廣人、佐藤 寧	
55	関東支部評議員	小池 生夫、香取 久子、神保 尚武、見上 晃	
56	関東支部選出本部委員		
57	関東支部選出理事	淡路 佳昌	大東文化大学
58	関東支部選出理事	奥 聡一郎	関東学院大学
59	関東支部選出理事	藤永 史尚	近畿大学
60	関東支部選出理事	狩野 紀子	拓殖大学
61	関東支部選出理事	鬼頭 和也	国際基督教大学
62	関東支部選出理事	今野 勝幸	龍谷大学
63	関東支部選出理事	佐藤 健	神戸大学
64	関東支部選出理事	下山 幸成	東洋学園大学
65	関東支部選出理事	湯舟 英一	東洋大学
66	本部理事	森田 彰	早稲田大学
67	本部理事	千葉 敦	常磐大学
68	機関誌編集委員	佐藤 健	神戸大学
69	機関誌編集委員	久保田 章	筑波大学
70	機関誌編集委員	藤永 史尚	近畿大学
71	機関誌編集委員	今野 勝幸	龍谷大学
72	国際交流委員【委員長】	小野雄一	筑波大学
73	国際交流委員	Marcel Van Amelsvoort	順天堂大学
74	メールマガ(ブログ)担当委員	若有 保彦	秋田大学
75	メールマガ(ブログ)担当委員	森谷 祥子	フリーランス
76	学会賞選考委員【委員長】	湯舟 英一	東洋大学
77	本部幹事（機関誌 J-Stage）	淡路 佳昌	大東文化大学

議題 6_電子投票導入に関する支部規約改定

外国語教育メディア学会（LET）理事選出規定 関東支部内規（改定案）

※既存の内規に赤字部分を追記し対応する

2000年4月1日 語学ラボラトリー学(LLA)理事選出規定関東支部内規より移行

【目的】

第1条 本内規は、「外国語教育メディア学会（以下、学会）理事選出規定」第3条を実施するにあたり、外国語教育メディア学会関東支部（以下、支部）が定めた運用内規である。

【選挙権・被選挙権】

第2条 理事選挙における選挙権および被選挙権は、選挙実施時に会費を納入している個人会員および学生会員として支部に所属している者が有する。ただし、改選前年度の理事会において本支部より選出された会長には被選挙権はない。

【候補者リストの作成】

第3条 「学会理事選出規定」第3条第1項に定められた理事候補者リストは、評議員会および運営委員会の合同会議（以下、合同会議）において、投票（電磁的方法を含む）により決定される。その手順を次のように定める。

1) 改選前年度に開催される運営委員会において、候補者リスト作成終了までを任期とする4名の理事候補者選出選挙管理委員を選出する。うち1名を選挙管理委員長とする。理事候補者選出選挙管理委員も選挙権及び被選挙権を持つことができる。

- 2) 候補者選出選挙管理委員会は、理事候補者リスト作成までのすべての業務を行う。
- 3) 投票は、合同会議に出席した評議員会および運営委員会の構成員により行なわれる。
- 4) 投票は記述方式とし、「学会理事選出規定」第2条第2項に定められた支部割当て総数から2名を引いた数以内の連記とする。
- 5) 開票は、候補者選出選挙管理委員により投票後直ちに行われ、合同会議に報告される。
- 6) 支部割り当て総数から2名を引いた人数分を上位から選出し、選出理事候補とする。
- 7) 得票数が同数で、割り当て数を超える時は、直ちに当該合同会議において当該人数分の記術式決選投票を行なう。以下、決定までこれを繰り返す。
- 8) 開票に際し、疑義が生じた票の取り扱いについては、候補者選出選挙管理委員会に一任する。

2 関東支部割り当て総数のうち、2名については支部長が推薦する。

【会員に対する信任投票の実施】

第4条 「学会理事選出規定」第3条第1項に定められた支部会員に対する信任投票の実施作業は、次の手順によりおこなわれる。

- 1) 理事候補者リスト作成後の合同会議において4名の理事選出選挙管理委員を選出し、理事選出後に解散する。選挙管理委員の内、1名を選挙管理委員長とする。ただし、支部選出理事候補に挙げられた者は、選挙管理委員となることはできない。
- 2) 理事選出選挙管理委員会は、合同会議で選出された候補者に対し、候補者となることの承諾を得、結果を合同会議に報告する。辞退者がでた場合は、次点者を繰り上げることとする。

3) 理事選出選挙管理委員会は、承諾された候補者のリストに基づき、信任投票用紙を作成、または、電磁的方法による投票方法の準備を行う~~する~~。

4) 信任投票用紙には、「理事選出規定」第3条第2項に基づき、候補者全員の氏名、勤務先を明示したリストと、候補者数の1/2名分の自由記述欄を設ける。端数が出た場合は切捨てることとする。

5) 理事選出管理選挙管理委員会は、書面で投票を行う場合には信任投票用紙と返信用封筒を、電磁的方法による投票を行う場合には投票に必要な情報を、「理事選出規定」第3条第1項に基づき、関東支部に所属する個人会員および学生会員に発送する。

6) 「理事選出規定」第3条第2項に基づき、リストに挙げられた理事候補者を信任しない場合は、各支部に割当てられた理事数の半数未満については自由記述できる。ただし、自由記述できる人数は不信任の人数を越えてはならない。

第5条 理事選出選挙管理委員会は投票結果を集計し、合同会議に報告しなければならない。

2 開票に際し、疑義が生じた場合の取り扱いなど、開票に関する運営はすべて理事選出選挙管理委員会に一任する。

第6条 投票の結果、信任された者を支部選出理事とする。

2 「理事選出規定」第3条第3項に基づき、不信任が投票総数の過半数を越えた場合、自由記述による最高得点者から順次選出する。得票が同数の場合は、合同会議において当該人数分の記名式決選投票を行なう。以下、決定までこれを繰り返す。

3 「理事選出規定」第3条第4項に基づき、支部長は、選挙結果を支部総会に報告しなければならない。

第7条 本内規の実施にあたり問題が生じた場合は、合同会議において審議し、その議に従い運用することとする。

第8条 本内規の改廃は、合同会議の議を経て、総会の承認を得なければならない。

附 則 1 本細則は、1999年6月13日より施行する。

2 2016年4月1日より一部改正施行。

3 2025年4月1日より一部改正施行。

=====

[参 考] 作業日程は下記を参考とする。

前年度

7 / 8 月	理事会	各支部理事者数決定
9 月	合同会議	理事候補者選出選挙管理委員選出 ※支部長候補者決定
	候補選出選挙管理委員	投票用紙送付
10 月	合同会議	投票
	候補選出選挙管理委員	開票。合同会議へ報告
	合同会議	候補者リスト承認
	合同会議	選挙管理委員選出
	選挙管理委員会	候補者へ承諾書発送、取りまとめ
11 又は 12 月	選挙管理委員会	合同会議へ報告
12 月	選挙管理委員会	投票用紙作成、会員へ発送
1 月	選挙管理委員会	投票用紙回収
2 月	選挙管理委員会	開票、結果集計

3月

選挙管理委員会

合同会議

合同会議へ報告

承認および不信任が出て、自由記述欄の
得票が同数の場合の決選投票。